

図 5-25-1 1973 年根室半島沖地震 (M7.4) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

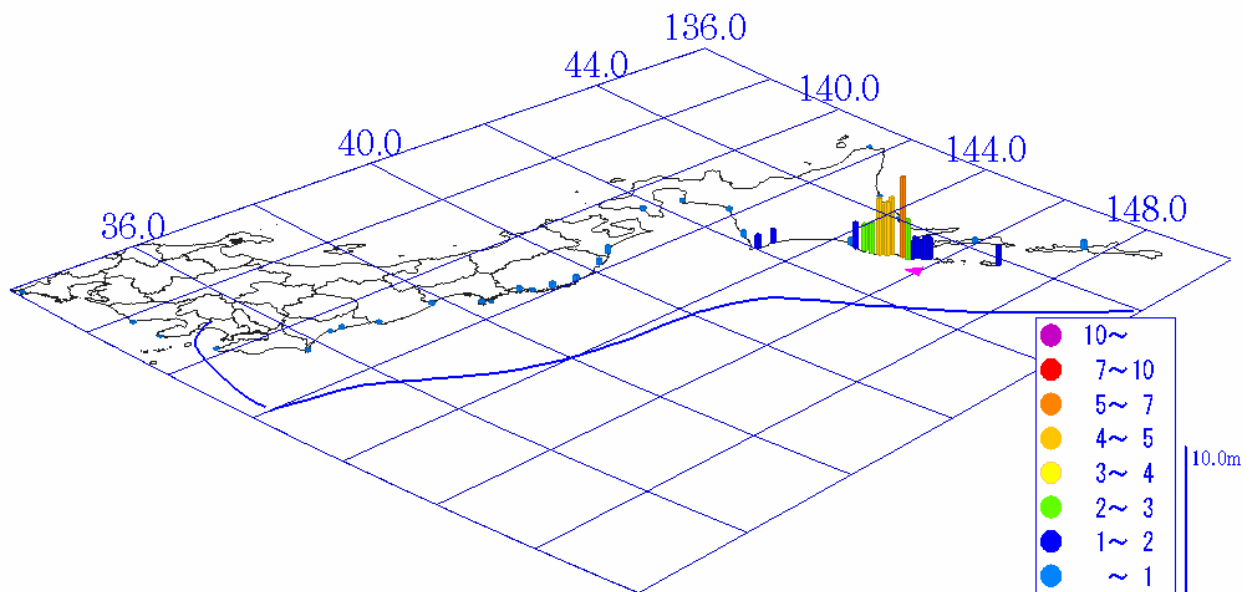


図 5-25-2 1973 年根室半島沖地震 (M7.4) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

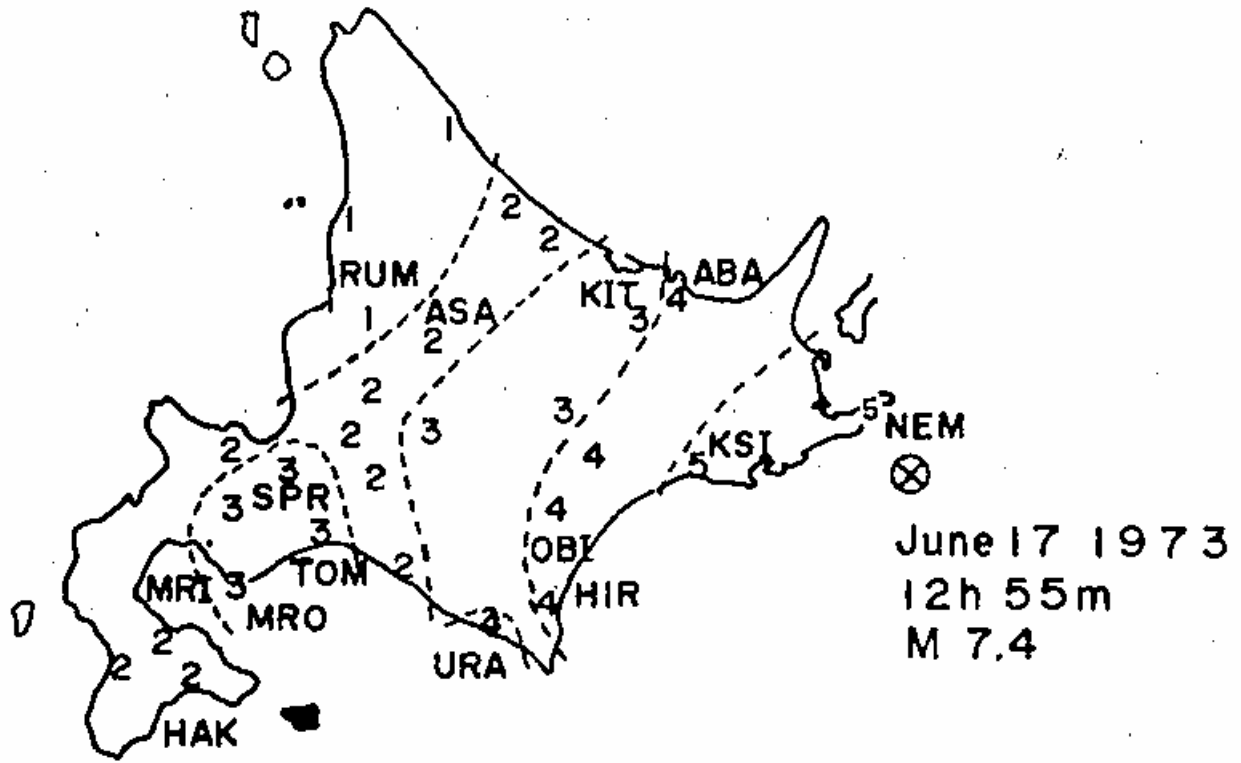


図 5-25-3 1973 年根室半島沖地震 (M7.4) による震度分布
 後藤・太田 (1974) によるアンケート震度分布

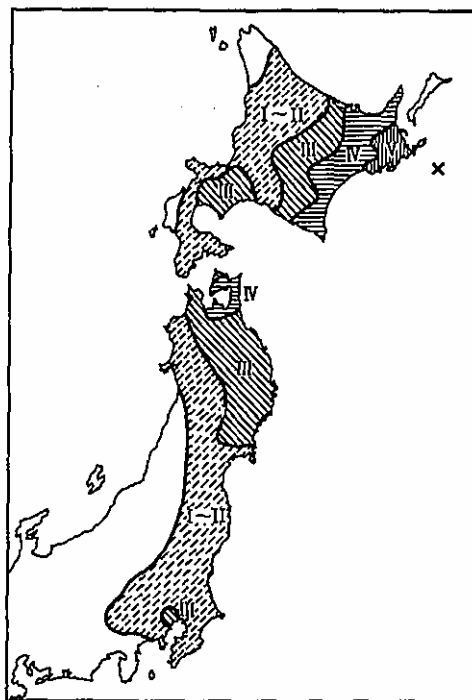


図 608-1 震度分布 [気象庁, 1974]

図 5-25-4 1973 年根室半島沖地震 (M7.4) による震度分布
 宇佐美 (2003) による

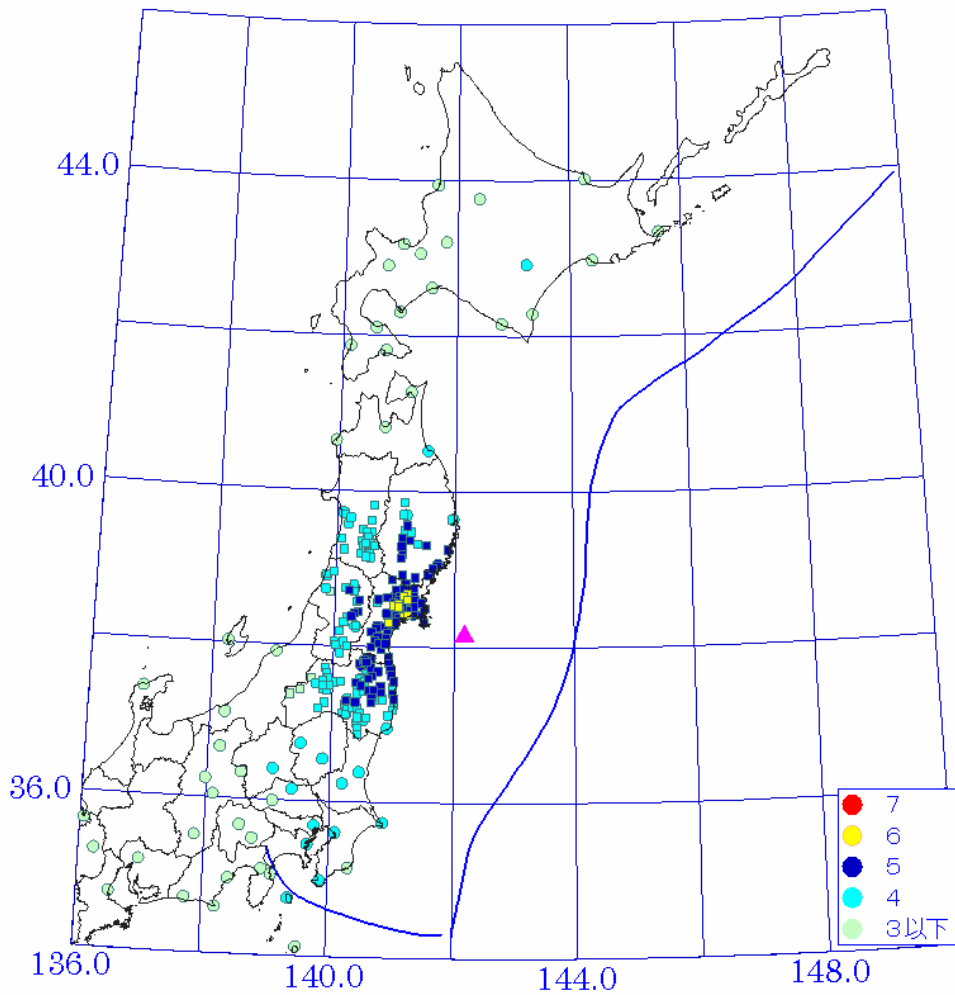


図 5-26-1 1978 年宮城県沖地震 (M7.4) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

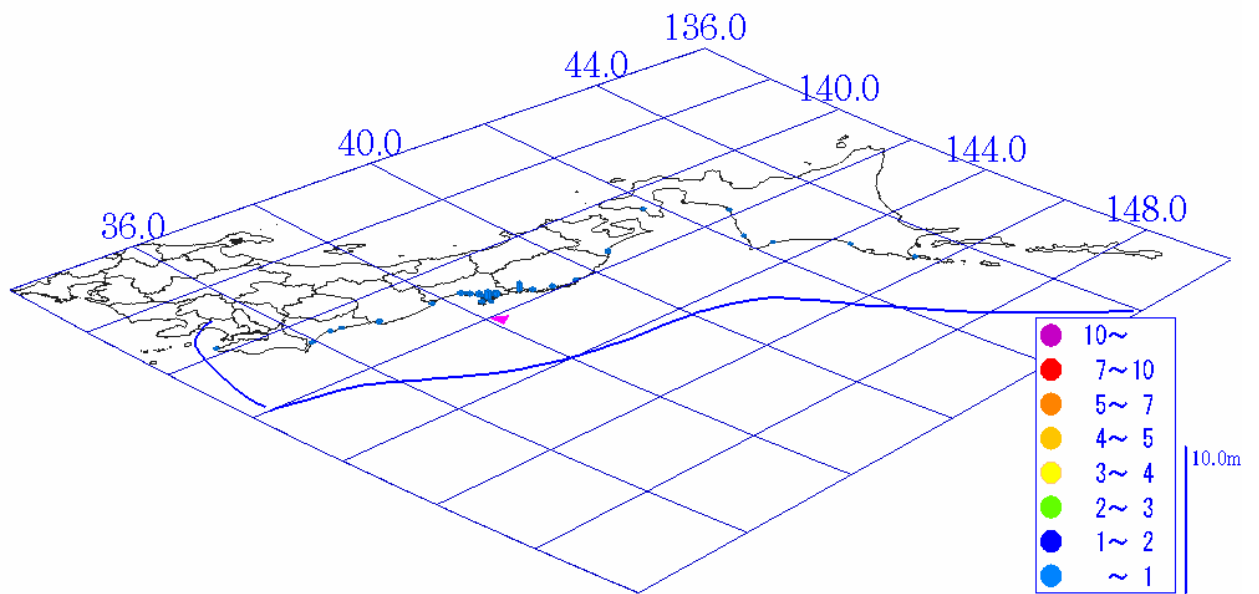
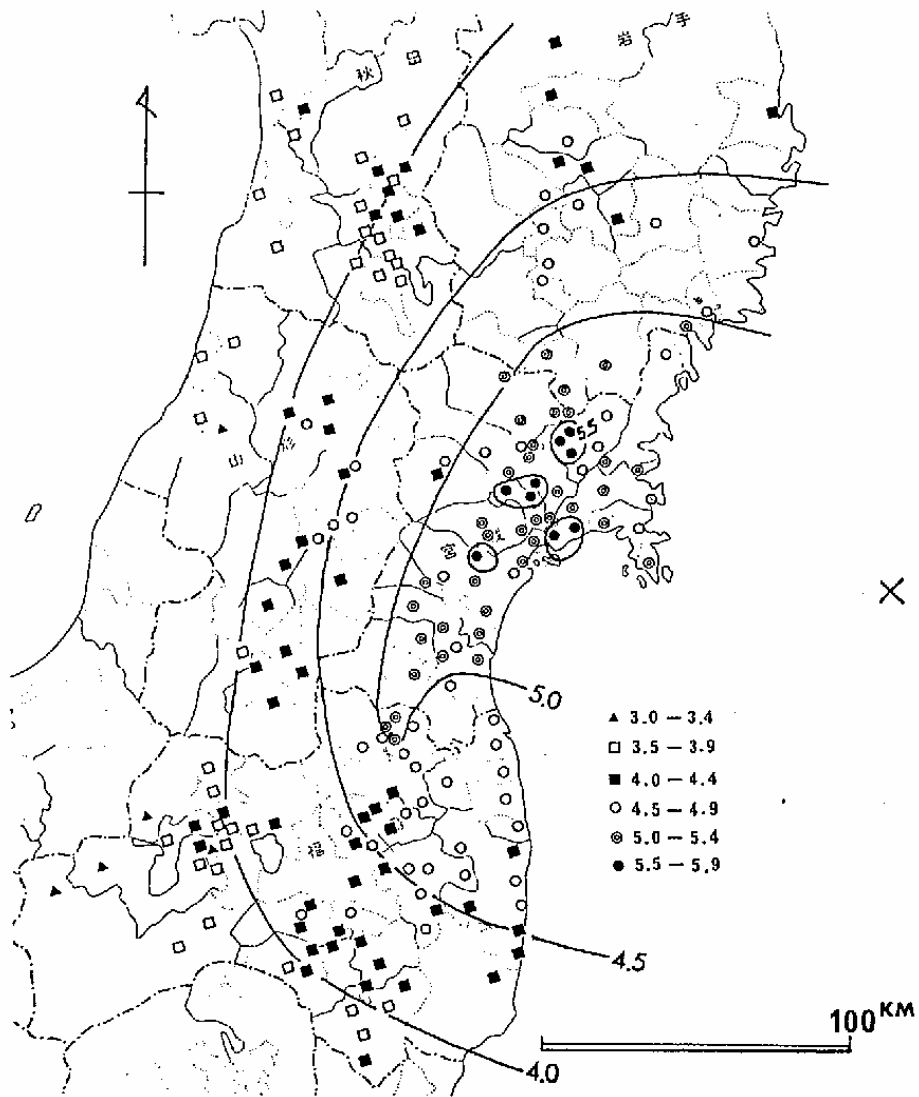


図 5-26-2 1978 年宮城県沖地震 (M7.4) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。



×は震央の位置。各市町村ごとに平均値を求めて表示してある。(村井・角田・辻村原図)

図 5-26-3 1978 年宮城県沖地震 (M7.4) による津波分布。
村井・角田・辻村(1978)によるアンケート震度

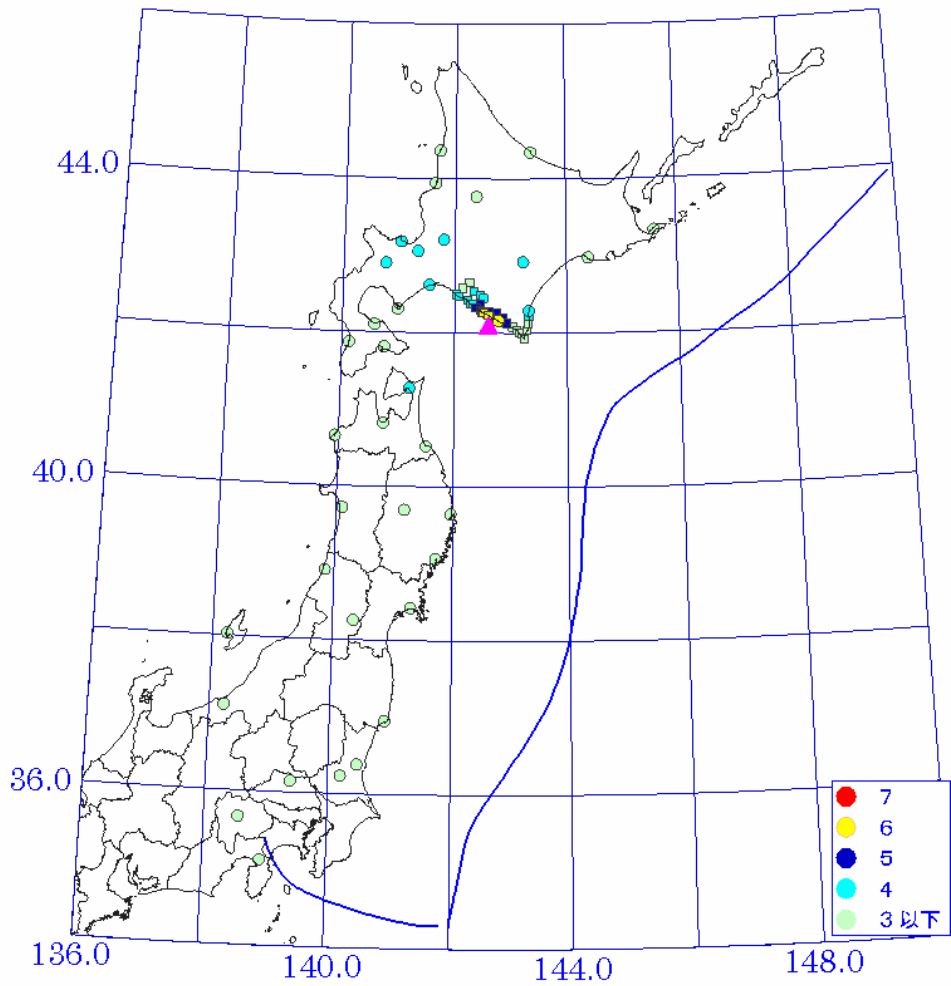


図 5-27-1 1982 年浦河沖地震 (M7.1) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

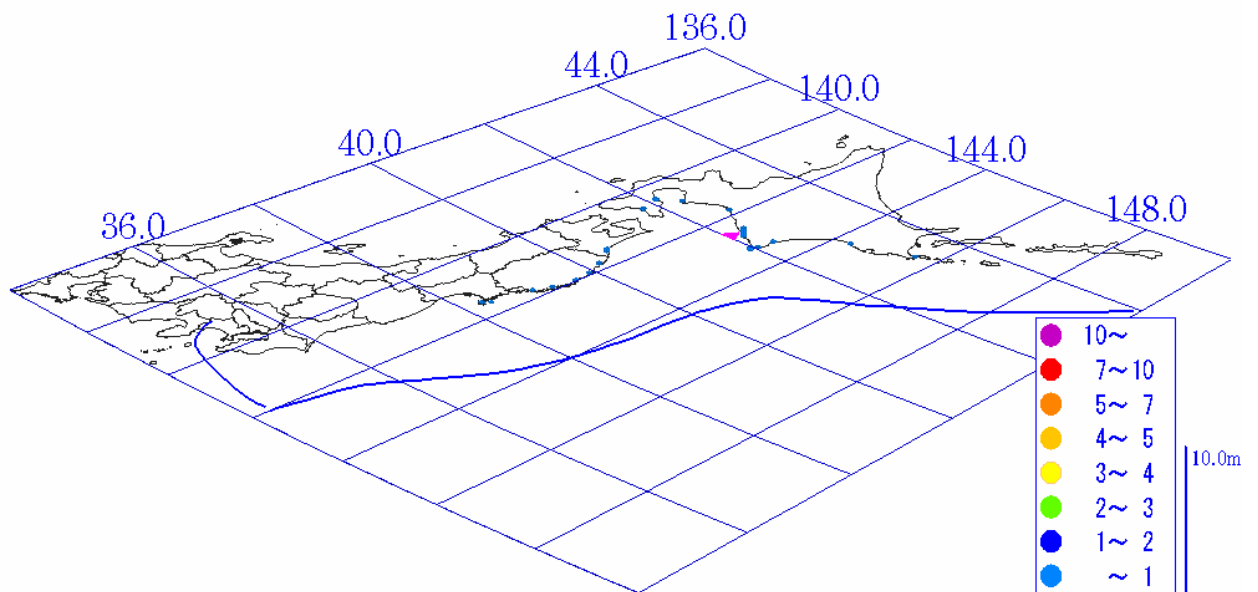


図 5-27-2 1982 年浦河沖地震 (M7.1) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

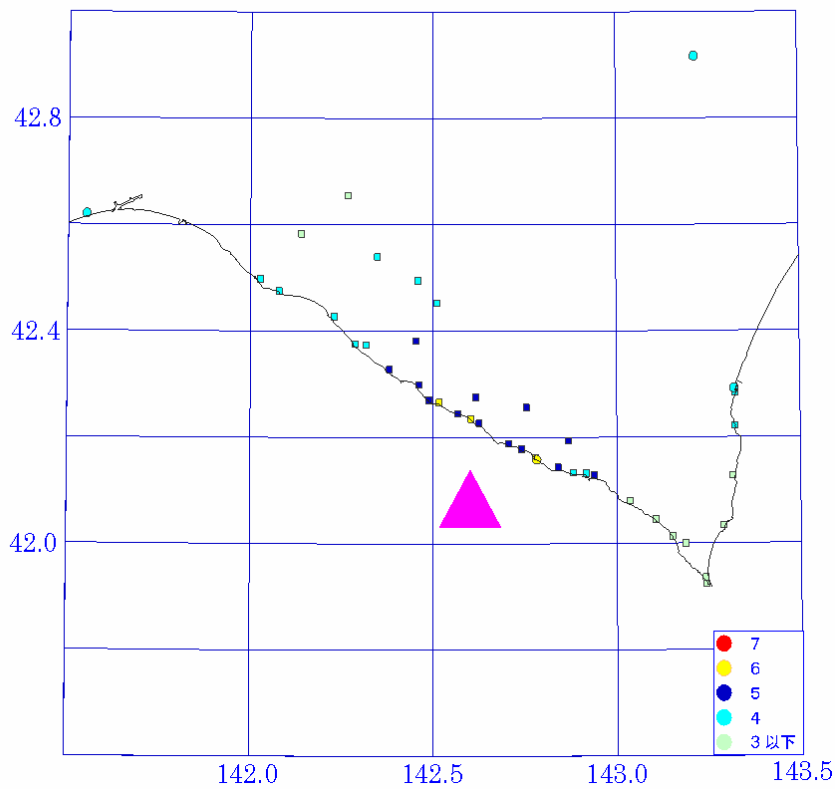
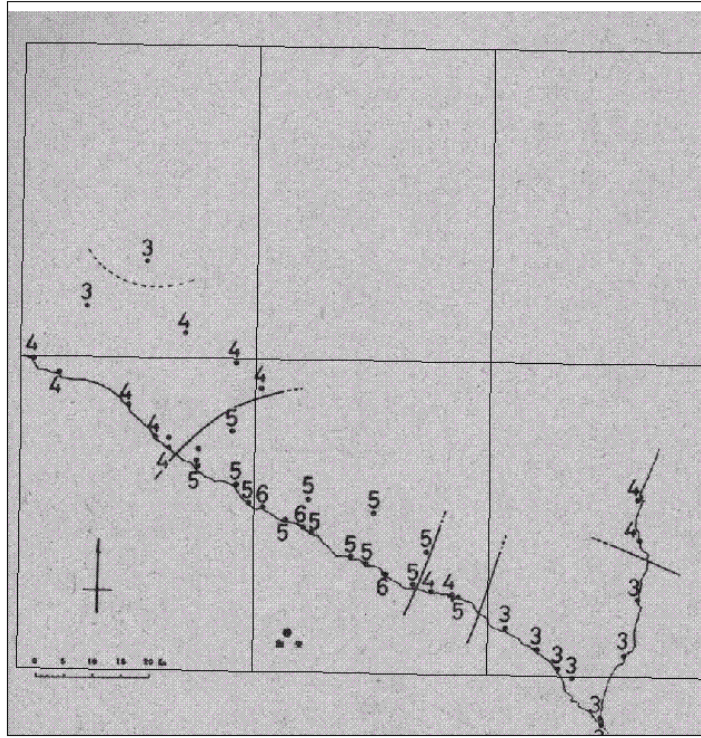


図 5-27-3 1982 年浦河沖地震 (M7.1) による震度分布。
 気象庁による現地調査の震度分布
 上が原図、下が読み取ったもの

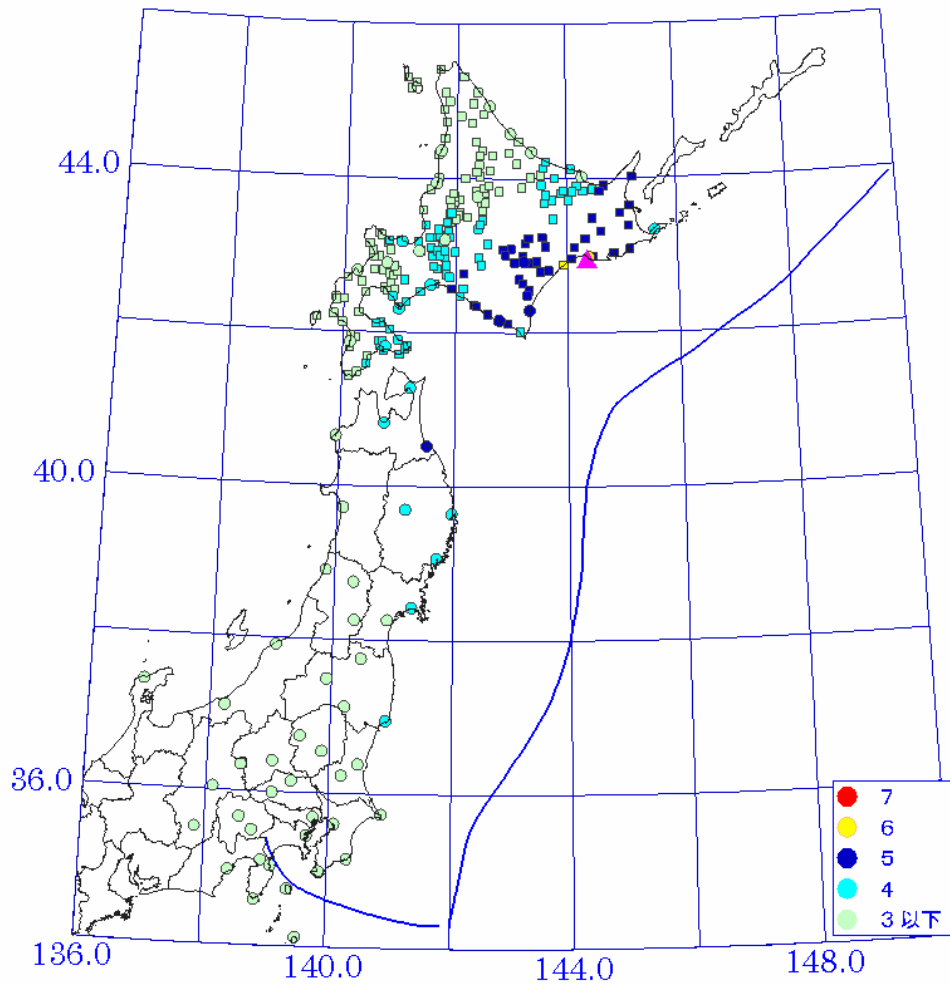


図 5-28-1 1993 年釧路沖地震 (M7.5) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

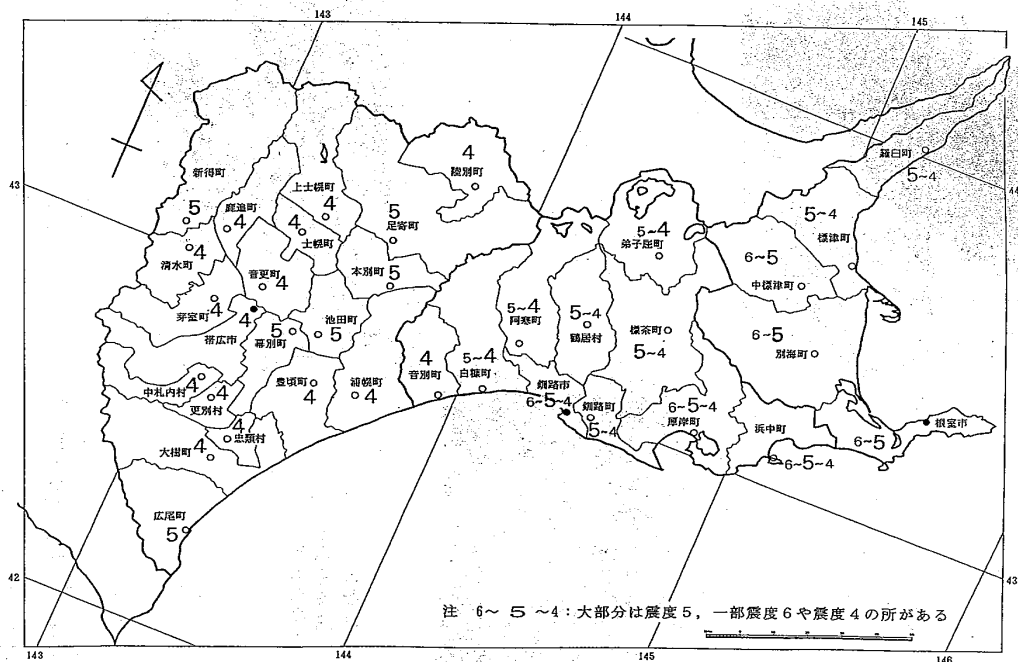


図 5-28-2 1993 年釧路沖地震 (M7.5) による震度分布。
 アンケートによる市町村別の震度

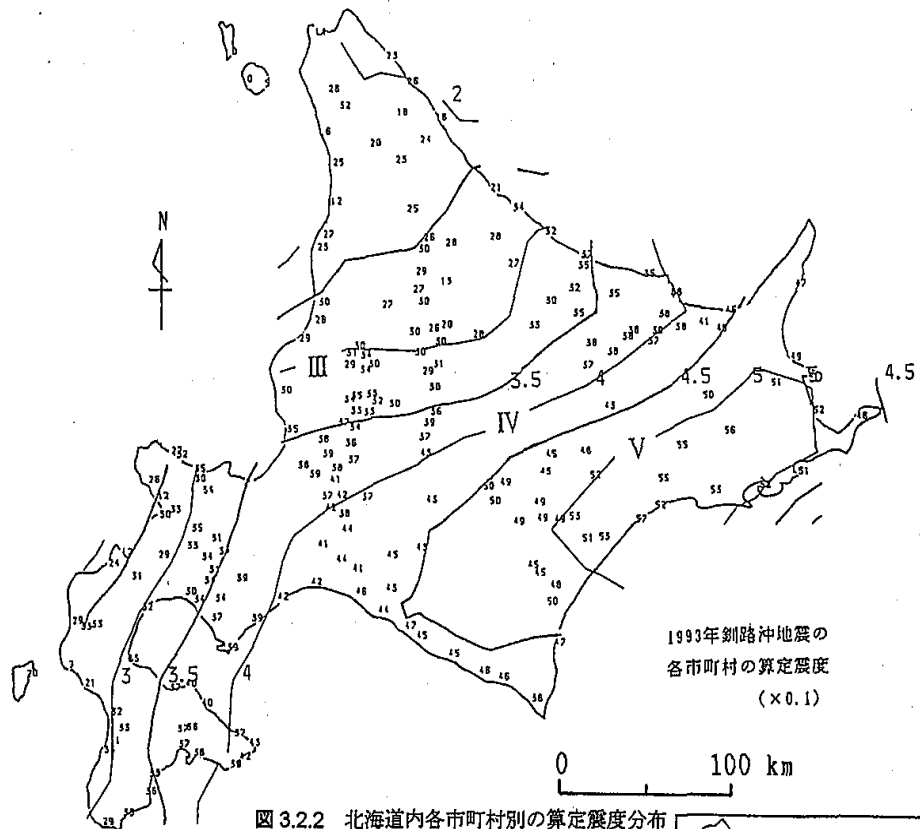


図 3.2.2 北海道内各市町村別の算定震度分布



図 3.2.3 釧路支庁管内各市町村別の詳細震度分布

図 5-28-3 1993 年釧路沖地震 (M7.5) による震度分布。
アンケートによる各市町村別および釧路支庁管内の震度

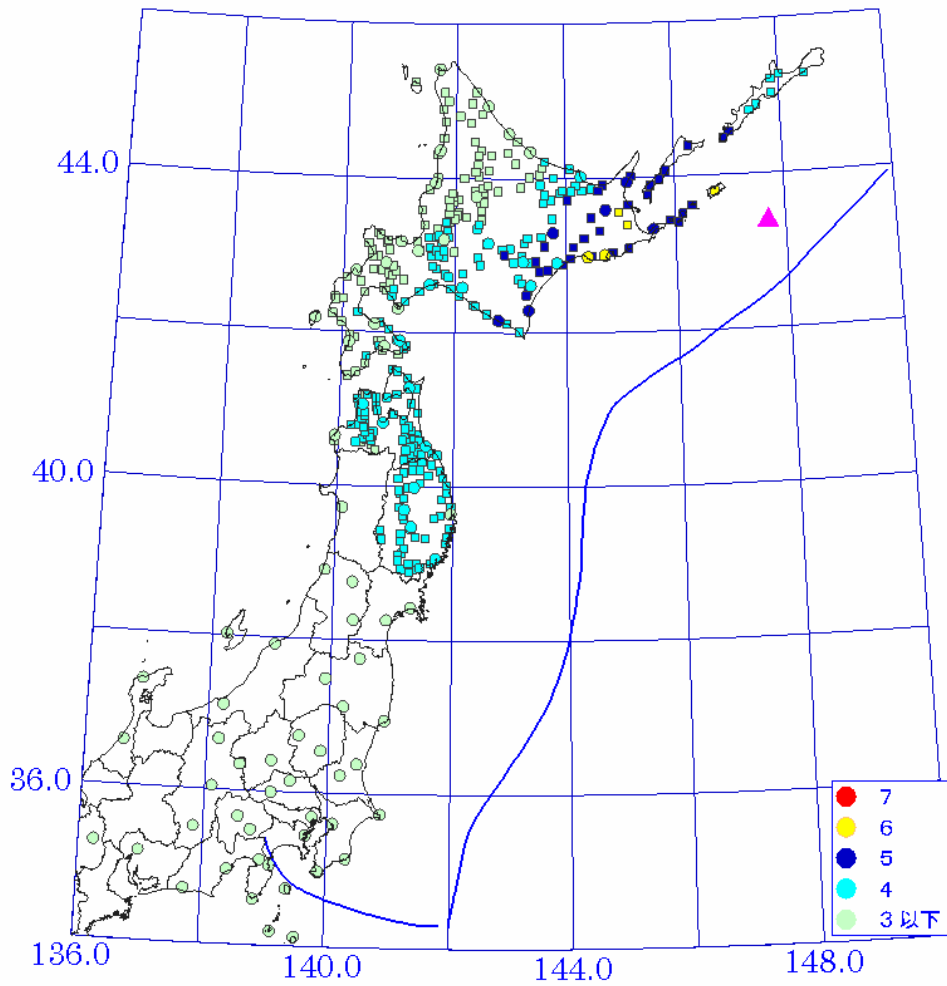


図 5-29-1 1994 年北海道東方沖地震 (M8.2) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

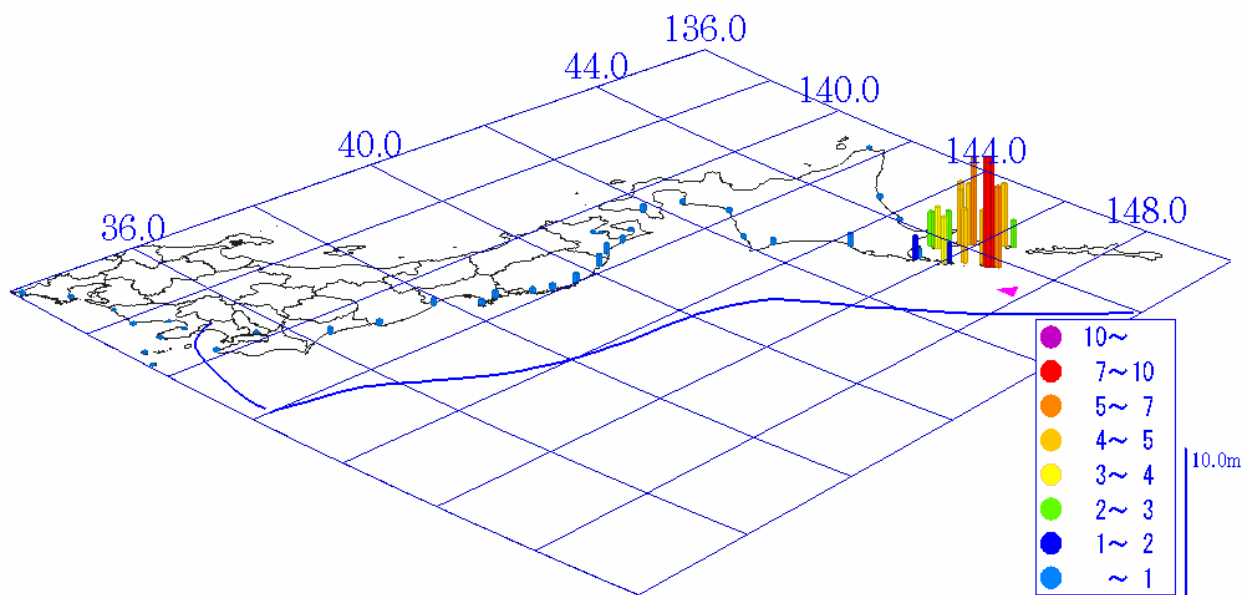


図 5-29-2 1994 年北海道東方沖地震 (M8.2) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

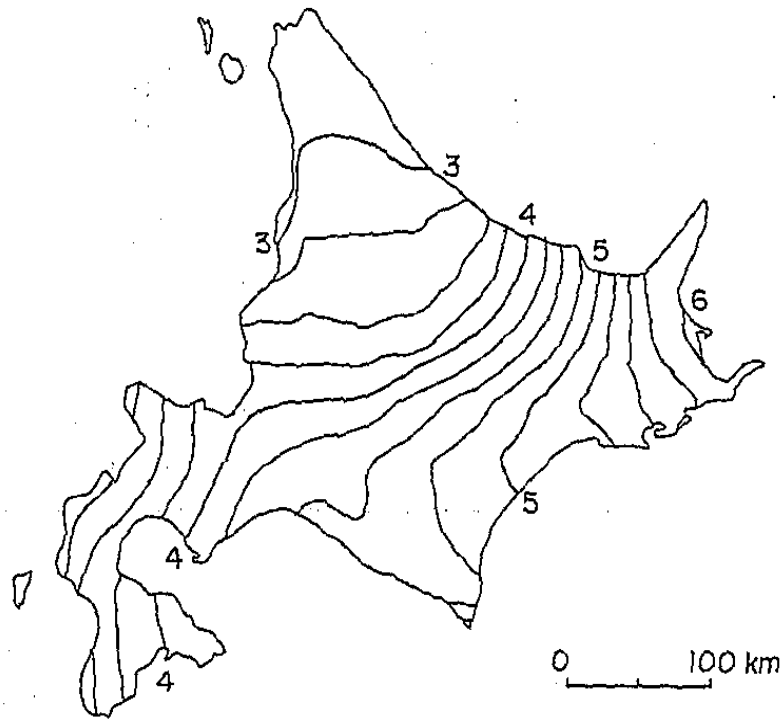


図2.2.2 平滑化した震度分布
(Smoothed isoseismals)

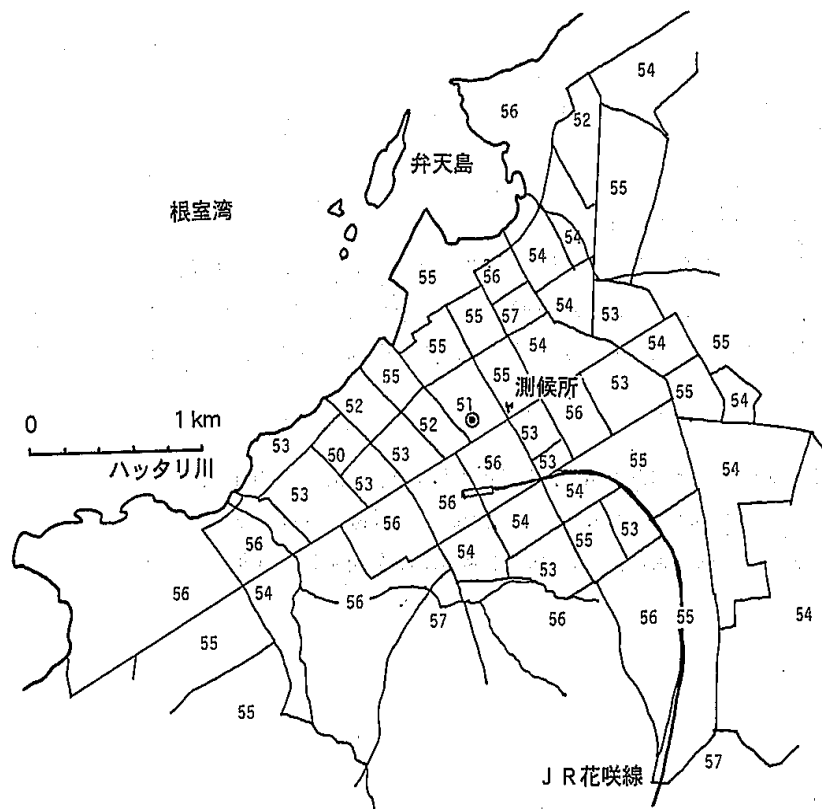


図2.2.4 根室市街地の町丁目別震度分布
(Detailed intensity distribution in the central part of Nemuro City)

図 5-29-3 1994 年北海道東方沖地震 (M8.2) による震度分布。
アンケートによる震度
上は平滑化したコンター、下は根室市内の震度分布

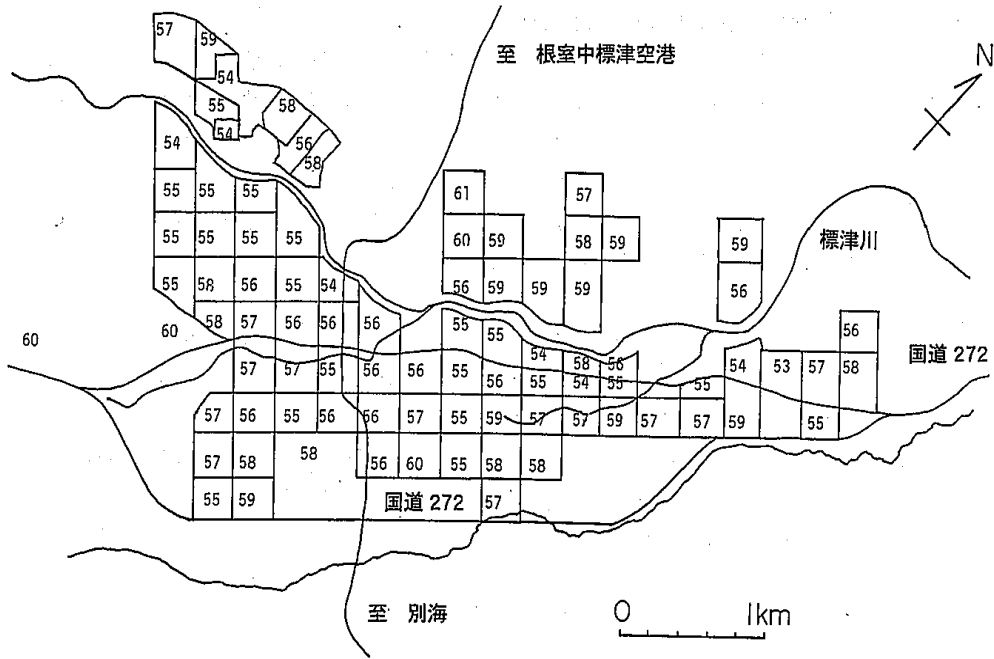


図2.2.5 中標津市街地の町丁目別震度分布
(Detailed intensity distribution in the central part of Nakashibetu Town)

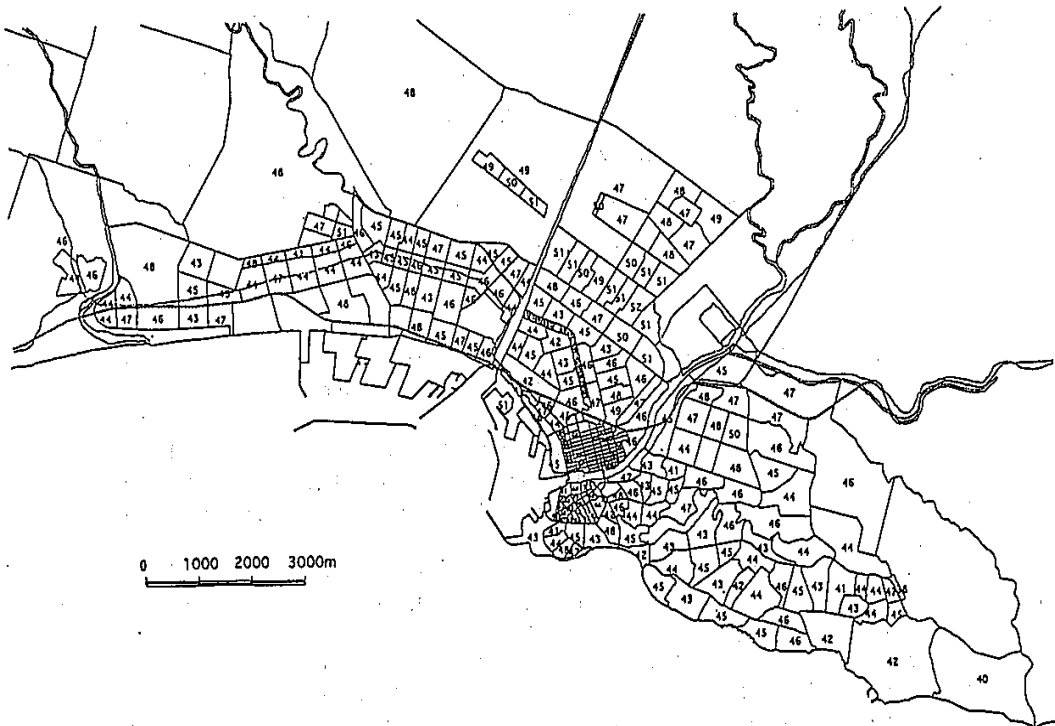


図2.2.6 釧路市街地の町丁目別震度分布
(Detailed intensity distribution in the central part of Kushiro City)

図 5-29-4 1994 年北海道東方沖地震 (M8.2) による震度分布。
アンケートによる震度
上は中標津市市街地の震度分布、下は釧路市内の震度分布

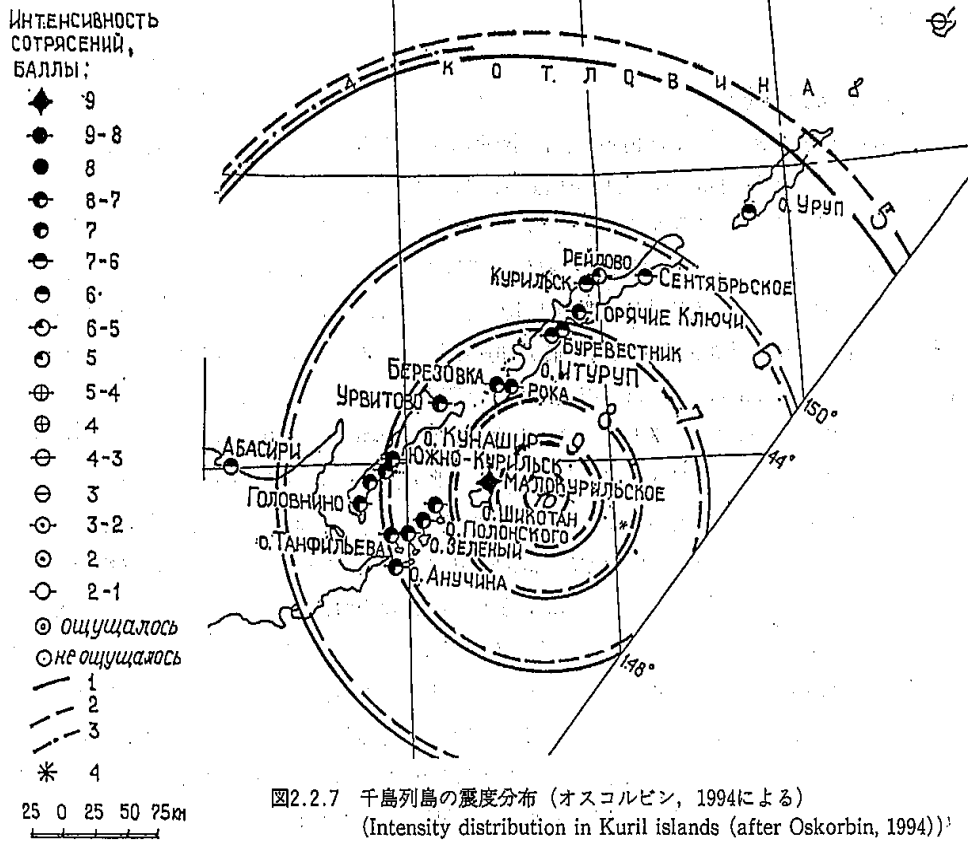


図 5-29-5 1994年北海道東方沖地震 (M8.2) による震度分布。
ロシアによる北方四島の震度
上は原版、下は MSK 震度階から気象震度階に変換した震度分布

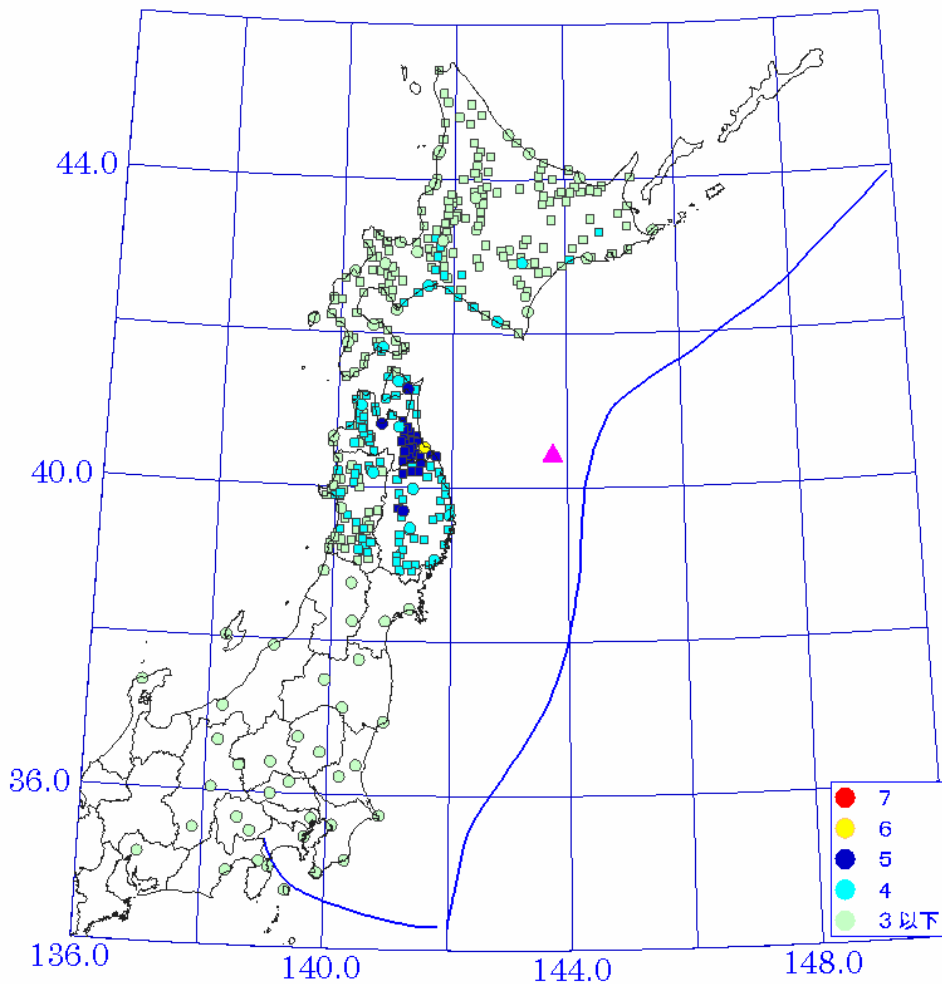


図 5-30-1 1994 年三陸はるか沖地震 (M7.6) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印はアンケートによる震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

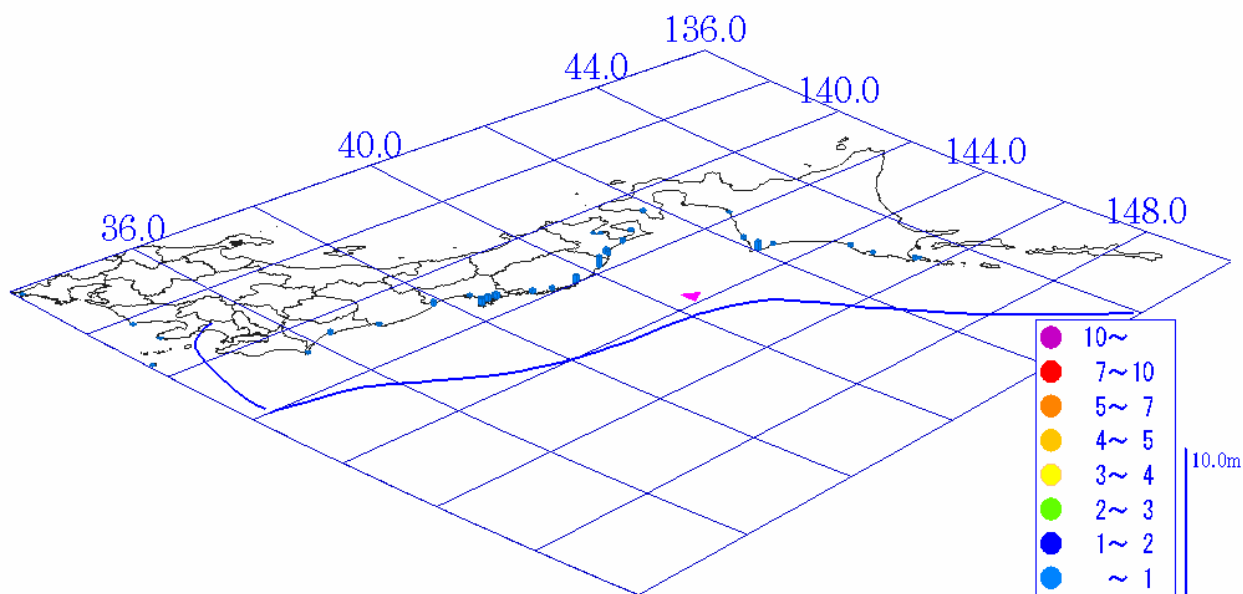


図 5-30-2 1994 年三陸はるか沖地震 (M7.6) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

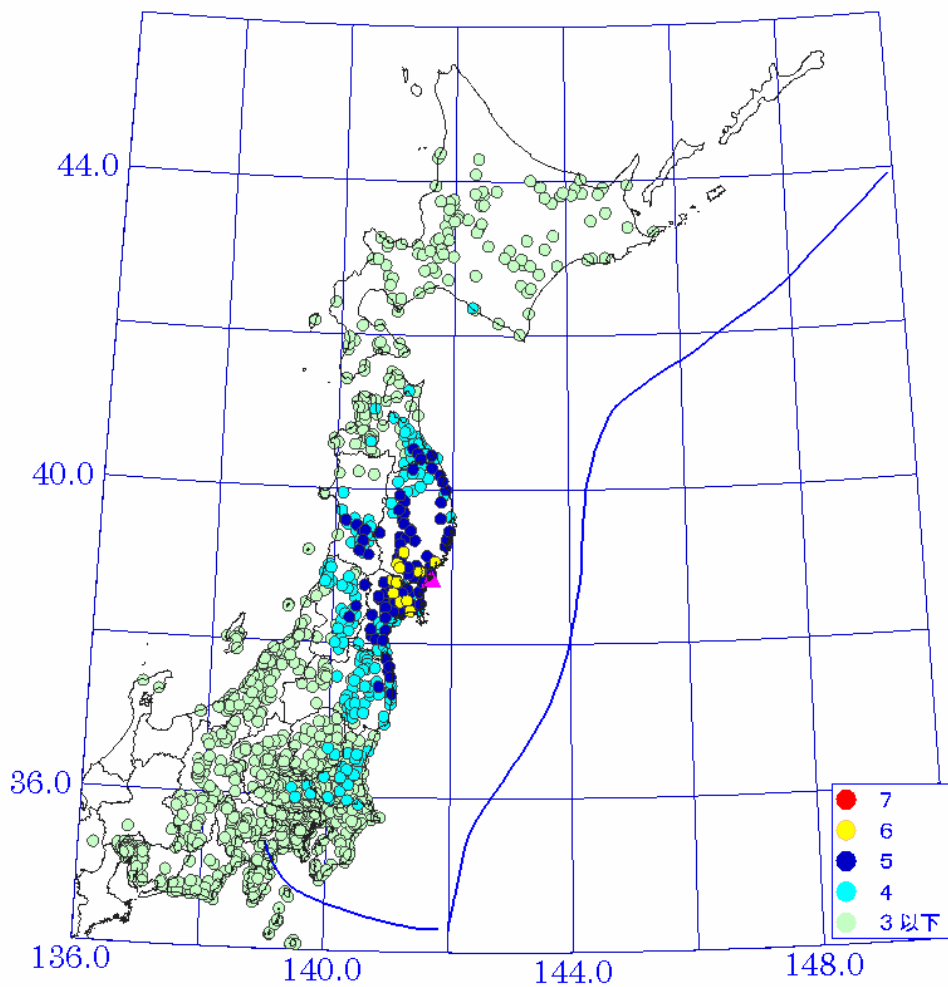


図 5-31-1 2003 年宮城県沖地震 (M7.1) による震度分布。
青線は海溝軸、▲は震央の位置。

津波資料なし

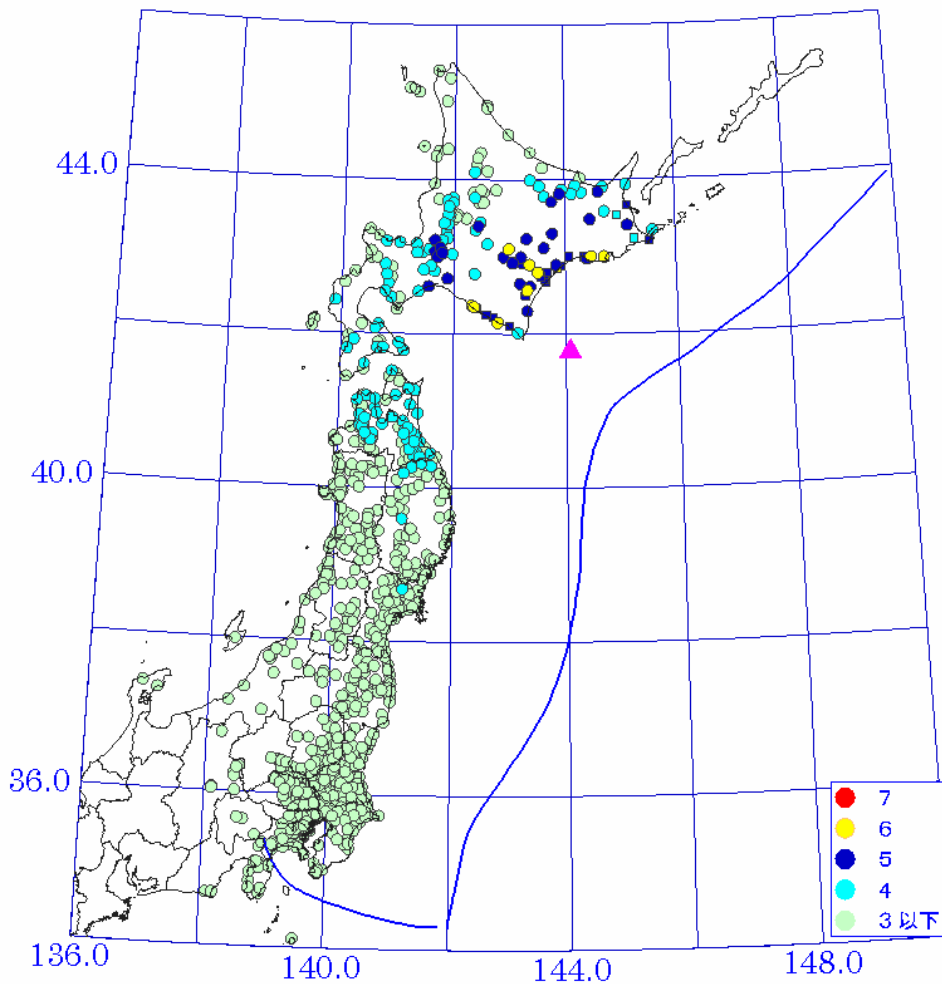


図 5-32-1 2003 年十勝沖地震 (M8.0) による震度分布。
 ○印は気象庁震度、□印は現地調査による震度。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。

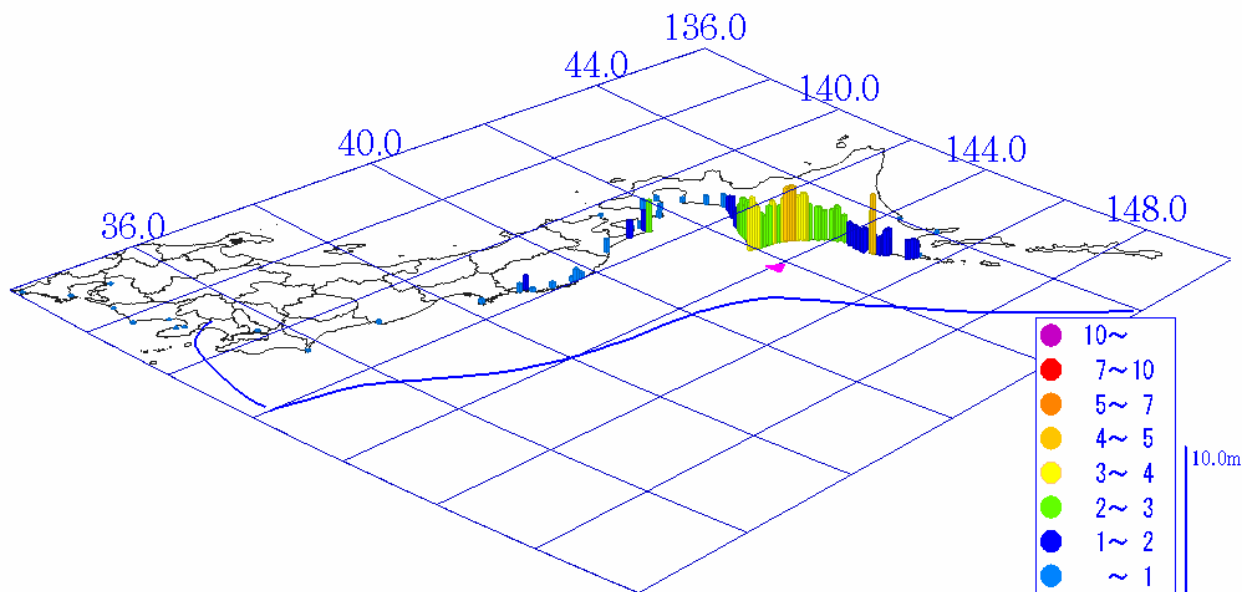
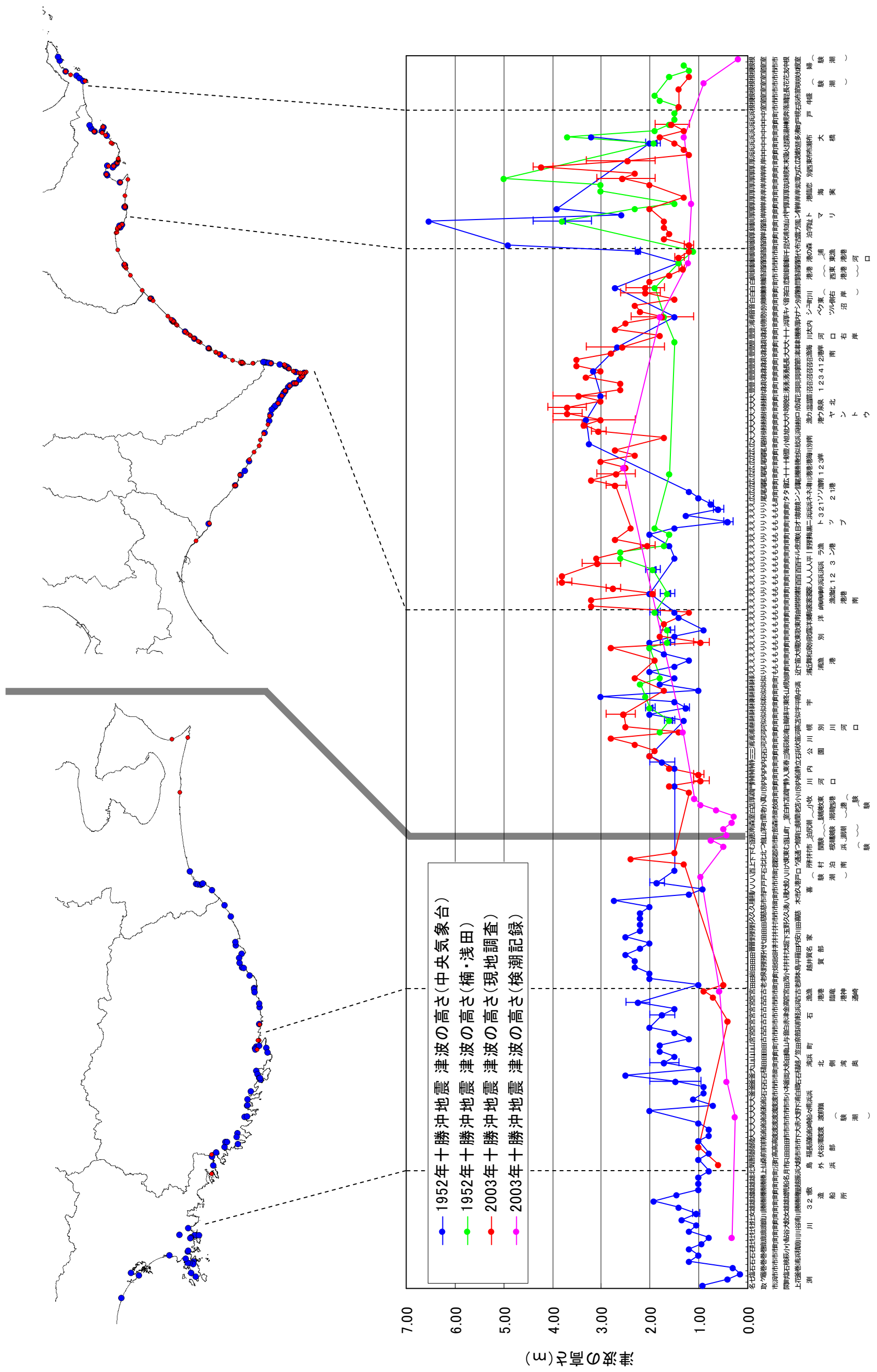


図 5-32-2 2003 年十勝沖地震 (M8.0) による津波分布。
 青線は海溝軸、▲は震央の位置。



- 1952年十勝沖地震津波の高さ(中央气象台)
- 1952年十勝沖地震津波の高さ(楠・浅田)
- 2003年十勝沖地震津波の高さ(現地調査)
- 2003年十勝沖地震津波の高さ(検潮記録)

図 5-32-4 1952 年十勝沖地震と 2003 年十勝沖地震の津波高さの文献別比較